

交換留学（派遣）近況報告書

.....

留学先大学： トリーア大学 _____
 留学先での所属学部・研究科： 経済学部 _____
 留学先での在籍身分： 交換留学生 _____
 留学期間： 2017 年 3 月～ 2018 年 2 月 _____
 神戸大学での所属学部・研究科： 発達科学部・人間環境学科 _____
 学年（出発時）： 学部3年 _____
 本報告書記入日： 2017 年 7 月 6 日 _____

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

☒ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> ドイツ _____ <期間> 1ヶ月 _____

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

☐ 国際教育総合センターの教員 ☐ 所属学部・研究科の教員 ☐ 友人
☐ 以前に参加した先輩 ☐ 所属学部・研究科の掲示板 ☒ 神戸大学のホームページ
☐ 留学フェア ☐ その他（具体的に） _____

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、

1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

<u>3</u> 学術的な目的（研究を深める等）	<u>4</u> 地理的な条件が良い
<u>2</u> 語学力の向上	_____ 旅行ができる
<u>1</u> 将来のキャリアのため（就職に役立つ等）	_____ プログラムの時期が良い
_____ 家族のバックグラウンドと関係がある	_____ プログラムの期間が良い
_____ 異文化体験	_____ 経費が安い
_____ 個人的理由	_____ その他（具体的に） _____

1-4. VISA について

VISAの種類： 学生ビザ _____

申請先： 外国人移民局 _____

必要日数： 約2ヶ月 _____

VISA 取得にかかった費用： 50ユーロ _____

VISA 申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

パスポートのコピー、経済力の証明、顔写真、入学許可証、保険証券。オリエンテーションの際に大学側に左記の必要書類を提出する。VISAの受け取り場所、日時はオリエンテーションの際に説明してくれる。

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

なし

1-6. その他に必要な手続き、方法、料金等

なし

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社：キャセイパシフィック航空

利用旅行会社（航空券の手配をした会社）：自分で予約

留学先大学最寄り空港名：フランクフルト 空港

空港到着時間：7 時頃

空港からの移動手段：☒大学手配の出迎え ☐知人の出迎え ☒公共交通機関 バス、鉄道 ☐タクシー☐その他（具体的に）

移動の所要時間・料金：210 分, 13ユーロ

空港からの移動の際の注意点：

トリーア駅に現地の学生が迎えに来てくれる。そこまでは自分で移動。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無：☒有り ☐無し参加について：☐必須 ☒任意参加参加費用：☐無料 ☒有料（金額：200ユーロ）

内容について記入してください。

ドイツ語の授業、ドイツ滞在における手続きの案内、大学生活における説明等。任意ですが諸手続きを自身で処理するのは難しいと思うので参加すべき。

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

現地の健康保険に加入（MAVISTA）。毎月€33、ネットにて即契約、早ければ翌日保険証券のデータファイルがメールにて届く、後日郵便で契約書が届く。ビザ取得時にはデータファイルのコピーで受理してくれる。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

ドイツラジオ放送の受信料支払い。留学前にトリーア大学からその旨について案内のメールがあります、詳細はオリエンテーションの際に説明してくれる。NHK受信料のようなもの。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

なし

留学先大学：トリーア大学

留学先での所属学部・研究科：経済学部

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2017 年 3 月～ 2018 年 2 月

神戸大学での所属学部・研究科：発達科学部・人間環境学科

学年（出発時）：学部3年

本報告書記入日：2017 年 7 月 6 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

トリーア大学のホームページ

住居について

- ・住居のタイプ：☒大学寮 ☐アパート ☐ホストファミリー ☐その他（具体的に）_____
- 住居（寮、アパート）の名称：Petriskberg
- ・部屋の種類：☒一人部屋 ☐二人部屋 ☐その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：☐現地学生 ☐留学生（出身国：_____） ☐その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：☒大学の斡旋 ☐自分で探した ☐その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：_____ 徒歩15 分、
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

街に出るのにバスで15分ぐらいかかる。すぐ近くにスーパーが2つ、DM（ドラッグストア）、サブウェイ（ファーストフード）、寿司店がある。生活必需品は街に出なくても十分賄える。食料品の物価は2割ほど日本より安い印象、外食は高い。静かで住みやすい環境。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

昼は大学の食堂、それ以外は自炊。部屋には電熱コンロが二つ、冷蔵庫が付いている。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

大学への出願と同時に寮の申請を行う。入寮日時が指定される、メールにて連絡あり、私の場合オリエンテーション登録日の前日に入寮でした。

大学の授業について**1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期：☐出発前 ☒到着後
- ・履修登録の方法：☒On-line ☐International Office等の仲介 ☐その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：☐無し ☒有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

オリエンテーションの際に履修方法を説明してくれる。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：☒はい ☐いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習，復習，テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Deutsch: Mittelkurs I (B1.1)	Zita van Wylick, M.A.	6	ECTS 6	28	テスト複数回あり
2	Grundzüge der VWL, Makroökonomie I	Georg Müller- Fürstenberger	2	ECTS 2	443	授業の前日にメールにて資料配布 最終回にテスト (E-Klausur)
3	Leistungsproze- sse	Bernhard Swoboda	2	ECTS 2	591	初回授業の時に教科書を購入 (確か€8だったと思います)
4	Stadt- und Wirtschaftsgeographie	Ulrike Sailer	2	ECTS 2	163	授業の前日にメールにて資料配布 出欠確認あり
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

ドイツ語コース（通称Daf）はドイツ語が堪能ではない留学生の為に開かれる授業。
履修学生の多いVorlesungはAudimax（食堂と同じ建物）で授業が開かれる。
Fachbereich VIはCampus2で授業が開かれる。
Klausurは筆記試験。
E-Klausurはパソコンを使つてのテスト。オリエンテーション最終日のDafのコース分けはE-Klausur。

一週間のスケジュール（授業時間，課外活動等，毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	Makroöko- nomie I						
9:00							
10:00			Stadt- und Wirtschafts- geograph- ie				
11:00		タンデム					
12:00							
13:00			タンデム	タンデム	タンデム		
14:00	タンデム						
15:00		Leistungs- prozesse					
16:00							
17:00							
18:00		Mittelkurs I (B1.1)	Mittelkurs I (B1.1)	Mittelkurs I (B1.1)			
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

トリーア大学に来て約3ヶ月が過ぎましたが、振り返ってみるとあっという間でした。当初は期待と不安が錯綜しているような状態でしたが、今はすっかり生活にも慣れて快適に生活を送れています。留学当初のオリエンテーションでは勉学の面だけでなく、生活面においても不自由がないよう面倒を見ていただけるので留学生に対して親切な大学だと思いました。また、大学の近くにはソーラーパネルやウインドファームがあり、私のドイツに来た一番の理由は再生可能エネルギーの普及について学ぶことであったため、良い環境で勉強できることに感謝しています。私がトリーア大学で一番満足している点はタンデムパートナーができたことです。日本語学科が企画してくれるバーベキューや飲み会などの行事でドイツ人学生と知り合う機会があり、そこでの出会いをきっかけにタンデムパートナーを作ることができます。タンデムでは授業で理解しきれなかった点などを互いの言語を交えて教えあうのはもちろんのこと、生活面においても困ったことがあれば相談にのってくれるので大変助かっています。そして何より皆勉強熱心で日本語が堪能な人が多く、初めて会ったときはその語学レベルの高さに驚きました。他の大学についての情報は詳しくないのでよくわかりませんが、ドイツ語を向上させたいと思っている人にとってトリーア大学はとても良い大学だと思います。授業に目を向けると、内容としては日本で学ぶことと変わらないように思いますが、教授の言っていることが断片的にしか理解できないので苦労しています。私は語学要件を満たすために独検2級を取得しましたが、それではドイツの留学生活において少し不十分だったように感じています。ここではDafという留学生のためのドイツ語コースが開講されているので語学レベルをさらに高めることができますが、留学を考えている方は日本で十分なドイツ語能力を身につけてから万全の状態で留学生活を送って欲しいと思います。また、過去に他の大学へ交換留学した方々も言っていますが海外の大学の授業の雰囲気は全く違います。こちらではドイツ人に限らず生徒は積極的に発言しますし、先生の授業を受ける姿勢も真剣です。DaFの授業は20時に終了するので帰宅する生徒もいますが、そのまま図書館に直行して勉強する生徒もいます。そういう学生達を見ていると、自からの勉学に対する姿勢を省みる良い機会になります。そして、そういった仲間と一緒に勉強できることは自分にとって人生の財産になると思います。留学する人は何らかの目的があって来るわけですから、ここでの留学生活は目的を達成するための大きな足掛かりになるのではないかと思います。